

町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

認知症と人権 ～誇り高く生きるには～

▼第11回おしどり学園



どんな人でも、一人では生きていけません

男性と女性など、それぞれの立場と気持ちを考えながら、一人一人が人間らしく誇りを持って生きるにはどうしたらよいかを考えました。

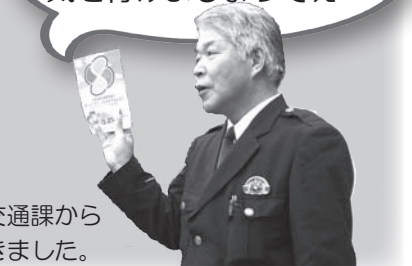
ビデオを見た後の話で、川上さんがもっとも強調したのが、「どんな立場であろうと、どんな状態になろうと、人間一人一人はかけがえのない存在だ」ということでした。

軒から落ちる雪解け水がリズムを打つ2月、おしどり学園に熱心な学園生が通ってきました。

2月の講演は、町人権センター所長、川上博史さんによる「認知症と人権」。まず、アニメーション仕立てのビデオを見て、認知症患者と介護をする家族、高齢者と若者、

講演前には、黒坂警察署の田中交通課長から「高齢者の交通安全」についての話がありました。県内の高齢者の交通事故死者数が増えています。十分、気を付けたいものです。

皆さん、事故せんやあに気を付けましようでえ～



黒坂警察署交通課から来ていただきました。

開講式は

4月15日(金)

新学期は、「花の育て方」から「日野病院を上手に利用する方法」まで、町民の皆さんに喜んで聞いていただける講演をたくさん用意しています。

詳しくは、4月5日の自治会発送で配布するチラシをご覧ください。新入生、大歓迎です。お申込みお待ちしております。

春です！おしどり学園の新学期が始まります！

おしどり学園グループ講座を紹介します⑦

▼写真講座

【最終回】

写真講座は昨年の4月に始まったばかりの、おしどり学園ではもっとも新しい講座です。写真愛好家グループ「写友会ひの」の皆さんたちの呼びかけで開設されたもので、講師も引き受けていただいています。

4月からの新入生を募集しています。初心者大歓迎です。



写真をスクリーンに拡大し、批評し合います

デジタルカメラの普及で、誰でも簡単に写せるようになった写真ですが、デジタルにはデジタルの知識が必要です。また、ただ写すだけでなく上手に撮る技術も覚えないといけません。そして写真講座のもう一つの目的が、「レンズを通して自分の町を知ること」です。実際、一つの風景や植物・動物をじっくり見つめることによって、今まで気付かなかったものが見えてくる場合があります。

「集まる楽しさ」

それが出前公民館です！

写真をご覧ください。山のようなごちそうです。すし、おこわ、コウタケ入りおにぎり、ふかふかパン、ピザ、ケーキ



この料理も、とてもおいしかったです。キ、スイーツなどなど。ぜんぶ、手作りです。菅福の諏訪で、地区初めての出前公民館が開かれました。「ゆうべ、ひと晩中かけて作ったんだよお」、「あんたは、このジゲで一番料理が上手だねんなあ」などと持ち寄った料理がテーブルに並ぶ前からぎやかです。

食事については、映画会。

名作『おくりびと』に笑い、泣き、そして感動。「ほんとは良かったねえ」、「また、やってもらわあで」。

はい、出前公民館は、いつでも、どこへでも出かけて行きます。

2月はほかに、下黒坂、黒坂3区、下上菅、日野町グラウンドゴルフ協会で開催しました。

わがまちの芸術をご覧ください

▼公民館ロビー展

3月は、松本文夫さん（門谷）の木工展『木の暮らし』、野坂正昭さん（野田）写真展『虹のふるさと』（25日まで）に続き、日野町墨彩会の墨画展『墨彩の世界』（27日～4月5日）が始まります。どうぞ、ご期待ください。



『木の暮らし』展と松本文夫さん

冬だって元気だぞーっ！

▼放課後子ども教室

日野町では昨年4月から、小学校で放課後子ども教室を展開しています。授業が終わってバスや迎えを待つ間、安全管理員に見守られて宿題や遊びをするものです。

その中でも、特に水曜日は「自然と遊ぶ日」と名付けて、自然や環境について楽しく学ぶ時間を設けています。

2月、黒坂小学校では県福祉保健局の由良充利さんの指導で、雪の結晶の形に紙を切ってモビールを作ったり、公民館職員の指導でムラサキキャベツを使って、酸性・アルカリ性の実験をしました。

また、根雨小学校では県自然保護監視員の番原昌子さんを講師に、雪の校庭に飛び出してネイチャーゲーム「ごちそうはどこだ」を実施。雪の中に隠したドングリの捜しっこをしました。寒い冬も子どもたちは元気いっぱいでした。



酸性・アルカリ性って何だ？興味津々（黒坂小学校）

年間優秀賞受賞者が続々誕生！

▼にぎやかな投稿文芸館

町公民館と町図書館では、昨年からロビーに「投稿文芸館」というコーナーを設けています。これは、町民の皆さんが新聞に投稿して入選した俳句、短歌、川柳を展示しているものです。

さて、この1年間の皆さんの成果は。と想っていたところにビッグニュース！各新聞の2010年の年間ベスト3が発表され、日野町から続々と受賞者が誕生したのです。

【日本海新聞・俳句】

年間最優秀賞

○ 朴落葉風に重さのありにけり

梅林律子(下黒坂)

【朝日新聞（鳥取県版）・俳句】

年間優秀賞

○ 百尺を落ちしばかりの水澄める

川上文子(根雨)

【読売新聞（鳥取県版）・短歌】

年間ベスト3

○ 会心の笑顔で見せる成績表守り

せし曾孫の早や中学生

和田厚子(上菅)

【読売新聞（鳥取県版）・川柳】

年間ベスト3

○ 前歯から抜け落ちていく自民党

パチパチパチ、拍手！すごいです

ね。こんな小さな町に。こんなに

たくさん優れた俳人・歌人の人が

いるなんて。もちろん、日野郡一

です。